

一般社団法人 廣東同鄉會

會刊

第 64 期

2014 年 1 月 19 日 發行

「健步如飛，平步青雲」



本會舉辦假日都心遊步會，部份與會者於日比谷十字路口合影留念
(攝於 2013 年 12 月 1 日)

一般社団法人 廣東同鄉會 文化部編集發行

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 1-5-13 TEL. 03-5823-6556 FAX. 03-5823-6557

<http://www.guangdong-jp.org/>

年年有餘

好年
好人
好時代

新春
新歲
新氣象



歲次甲午 迎春納福



■ CONTENTS 本期目錄 ■

不能忘記的歌聲(忘れえぬ歌声)	陸 煥 鑫	3 頁
笑话四則	編 輯 部	4 頁
中山市华侨历史征集组莅会访问	編 輯 部	5 頁
全球三千餘粵籍鄉親聚濠江	編 輯 部	6 頁
廣東政協主催の江浙両省視察団に参加して	朱 銘 江	8 頁
會務動向	總 務 部	14 頁
編後記	朱 銘 江	16 頁
小啟 (お知らせ)	編 輯 部	17 頁
友好往來活動相片選登	編 輯 部	18 頁

【繁體字】

六十年前從香港來日本留學的時候，因為初到貴境，看見的、聽到的都覺得很新鮮。我入了東京齒科大學預科，校舍設在市川，因此我在學校附近的民家下宿。該處環境幽靜，從下宿到學校走路只需七、八分鐘。

有一天時值仲秋的十月，是日也，天朗氣清、惠風和暢。當我上學行到一條小橋的時候，因為離上課時尚早，我就立足在不到三公尺的木橋上，靜靜地欣賞橋下的流水，附近的農家和田野的景色。我被這自然的風光吸住了，心情有說不出的愉快。正當我沉醉在這景色的時候，傳來陣陣的歌聲，娓娓動聽，後來我知道這首歌叫做《濱邊之歌》，傳來的歌聲是由一間農家的收音機播出來的，在這樣的美景之中，聽這樣美妙的歌聲，更加令我陶醉了。同是一首歌，在不同的環境下，感覺就不同了。以後聽到《濱邊之歌》的時候，我就回想起那時候的感覺，就份外覺得好聽了。很可惜那時的美景，已經變成了住宅區，不能再得了。但留在我腦海的《濱邊之歌》是畢生難忘的。

【简体字】

六十年前从香港来日本留学的时候，因为初到贵境，看见的、听到的都觉得很新鲜。我入了东京齿科大学预科，校舍设在市川，因此我在学校附近的民家下宿。该处环境幽静，从下宿到学校走路只需七、八分钟。

有一天时值仲秋的十月，是日也，天朗气清、惠风和畅。当我上学行到一条小桥的时候，因为离上课时尚早，我就立足在不到三公尺的木桥上，静静地欣赏桥下的流水，附近的农家和田野的景色。我被这自然的风光吸住了，心情有说不出的愉快。正当我沉醉在这景色的时候，传来阵阵的歌声，娓娓动听，后来我知道这首歌叫做《滨边之歌》，传来的歌声是由一间农家的收音机播出来的，在这样的美景之中，听这样美妙的歌声，更加令我陶醉了。同是一首歌，在不同的环境下，感觉就不同了。以後听到《滨边之歌》的时候，我就回想起那时候的感觉，就份外觉得好听了。很可惜那时的美景，已经变成了住宅区，不能再得了。但留在我脑海的《滨边之歌》是毕生难忘的。

忘れえぬ歌声

【日本語】

六十年前香港から日本へ留学しにきたころ、初めての土地だったこともあり、見るもの聞くものすべてが新鮮に思えました。私は東京歯科大学に予科に入学し、校舎が市川にあったため学校の近く民家に下宿することになりました。その環境はとても静寂で、下宿から学校までは徒歩で七、八分の距離でした。

ある日ちょうど十月の仲秋のころ、この日は天気晴朗にてそよ風が心地よい日でした。学校へ向かう際に小さな橋に差し掛かったあたりで、まだ始業時間に早かったので、その3メートルにも満たない木の橋にたたずみ、静かに橋の下を流れるせせらぎを眺め、あたりの農家と田園の風景に見とれていました。その光景に酔いしれていると、心地よい歌声が耳に届きました。あとになってこの歌のタイトルは「浜辺の歌」であることを知りました。歌の出所はある一軒の農家から流れるラジオでした。このように美しい光景の中で、麗しい歌声を聞いているうちに、わたしは更に陶醉してしまいました。同じ曲目であっても、違う環境下では感じ方も異なるものです。それ以降「浜辺の歌」を聞くたびに、わたしはあの時の感覚を思い出すと、音色が更に美しく感じられます。ただ残念なのは、あの頃の美しい景色も、今では既に住宅街に変貌してしまい、あの頃に戻ることもかなわなくなりました。しかし私の脳裏に焼き付いた「浜辺の歌」は生涯忘れることはありません。

笑话四则

编辑部

(1) 烫头发

幼儿园的老师问上小班的小宝宝：“宝宝，为什么你的头发是卷的呀。”

小宝宝答道：“我妈说我还在她肚子里的时候，不小心喝开水烫的。”

(2) 不高兴？

上幼儿园大班识字班的女儿问妈妈：“妈妈，开心是什么意思？”

妈妈答道：“开心就是很高兴。”女儿：“那不开心就是不高兴吧！”

妈妈：“。”

(3) “能力公司”

几个家伙合资开公司，为了彰显公司的牛逼，特取名“能力”！

“能力公司”一听就知道炫酷叨霸天！兴高采烈地从工商局拿回执照一看，一个个全傻眼了。只见执照上大大地写着：“能力有限公司”。

(4) 期末考试

第二外语学院日语系期末日语考试。

老师说全部开卷，进出自由，带辞典、带教材、带笔记、带电脑……带什么都可以。

然后一位男同学竟然带了一个东洋妹。

2013年11月3日,由中山市文化广电新闻出版局胡颂科副局长率领的中山市华侨历史资料征集组一行6人莅日访问。是日下午一行甫抵成田机场,随即直奔我会访问。

下午四时许,本会会长陆焕鑫、副会长朱铭江、符顺和、理事张康权、尹星以及横滨中山乡友会会长伍国雄、副会长缪光祐等在我会馆迎接了客人的到来。

本会为一行举办了简短而隆重的欢迎仪式,向一行的到来表示了热烈的欢迎。陆会长致欢迎词,接着中山市文化广电新闻出版局胡颂科副局长介绍了此次一行来日的目的。

代表团一行向本会赠送了一面锦旗留做纪念。

次(4)日下午,本会与横滨中山乡友会假座横滨中华街大珍楼新馆举办了交流会暨欢迎晚宴,30余名中山乡亲相聚一堂与访日团一行进行了交流。

中山市政府决定筹建中山华侨历史博物馆,特派出征集组赴各国收集华侨历史资料。此次一行将走访东京横滨之外,行程还包括赴神户、长崎等地。

中山华侨历史博物馆筹建办公室继续征集有关华侨华人历史的实物和资料,期待着广泛侨胞的积极支持和响应。

中山市華僑歷史資料收集于一本会來訪



与来访的中山市华侨历史资料征集组访问团胡颂科团长(左3)一行合影留念

2013年11月3日、中山市文化广电新闻出版局胡颂科副局长率いる中山市華僑

歴史資料収集チーム一行6名が来日し、同日午後成田に降り立ちその足で本会へ来訪した。

午後四時過ぎ、本会の陸煥鑫会長、朱銘江、符順和副会長、張康権、尹星理事と横浜中山郷友会伍国雄会長、繆光祜副会長らが本会会館で一行を出迎えた。

本会では、一行の来訪を歓迎しシンプルながらも厳かな歓迎式典を催した。陸会長は歓迎の挨拶をし、続いて中山市文化広電新聞出版局の胡頌科副局長が今回の一行の来日目的を紹介した。

そして、代表団一行は本会に記念の旗を贈った。

翌(4)日午後、本会と横浜中山郷友会は横浜中華街大珍楼新館で交流会と歓迎晩餐会を開催し、30余名の中山出身者は訪日団と交流した。

中山市政府では、中山華僑歴史博物館の建設が決定され、各国に華僑歴史収集チームを派遣し、資料を収集を進めている。今回一行は東京横浜以外に神戸や長崎へも足を伸ばし資料収集とその為の宣伝活動を続けた。

また、中山華僑歴史博物館籌建弁公室では、引き続き華僑華人の歴史的な品物と資料の収集を進めており、この先も広範な僑胞の支持と協力を呼びかけている。

全球三千餘粵籍鄉親聚濠江

編輯部

2013年11月10~12日，第七屆世界廣東同鄉聯誼大會(簡稱：「世粵聯會」)暨第一屆世界廣東華人華僑青年大會(簡稱：「世粵僑青大會」)在澳門氹仔威尼斯人渡假區舉行。日本則有我一般社團法人廣東同鄉會之外、橫濱的廣東要明鶴同鄉會、神戸的兵庫縣廣東同鄉會亦分別組團參加，與來自41個國家地區100多個社團的3500位粵籍鄉親交流並增進鄉誼。

「世粵聯會」每隔兩年召開一次，由第一屆的新加坡開始、接著在中國廣東、中國香港、馬來西亞、印度尼西亞、泰國舉行、此次第七屆大會則來到中國澳門召開。配合此次大會的召開、第一屆世界廣東華人華僑青年大會(世粵僑青大會)也同時舉行，以此為契機加深了年青一代的鄉誼。

為紀念首屆「世粵僑青大會」的召開，大會甄選「2013世界廣東僑青十傑」、本會朱銘江副會長榮獲其提名獎、在11日晚上舉行的閉幕式上受到表彰。這是對多年來貢獻僑務鄉會工作的肯定，同時也是廣大華僑青年的楷模。

下屆大會將於兩年後的2015年，在澳大利亞的悉尼舉行，悉尼代表團接過了大會旗。



本會朱銘江副會長榮獲「2013 世界廣東僑青十傑」提名獎

全世界三千余の広東同郷マカオに集う

2013年11月10～12日、第七回世界広東同郷聯誼大会（略称：「世粵聯會」）並びに第一回世界広東華人華僑青年大会（略称：「世粵僑青大会」）はマカオ・コタイ地区のベネチアンリゾートで開催された。日本からは一般社団法人廣東同郷会のほか、横浜の広東要明鶴同郷会、神戸の兵庫県広東同郷会が代表団を組織し、世界各地から参加した3500余名の広東籍僑胞と交流した。

「世粵聯會」は二年に一度開催され、第一回のシンガポールから始まり、中国広州、中国香港、マレーシア、インドネシア、タイと続き今回のマカオ大会が七回目に当たる。また、今大会から華僑華人青年を対象にした「第一回世界広東華人華僑青年大会（世粵僑青大会）」も同時に開催され、若い世代の郷誼も深めた。

第一回の「世粵僑青大会」開催を記念し「2013 世界広東僑青十傑」が発表され、本会朱銘江副会長は提名獎の榮譽を獲得し、11日夜に催された閉幕式で表彰された。これは日頃の僑務に対する貢献が認められたもので、広範な華僑青年の模範となる功績が表彰の理由となった。次回の大会は二年後の2015年にオーストラリアのシドニーで開催されることが決定し、大会旗はシドニー代表団へと引き継がれた。

廣東政協主催の江浙両省視察団に参加して 朱 銘 江

昨秋、広東省政治協商会議外事僑務委員会の招きにより、江浙両省を視察する機会を得た。

広東省政協では 2009 年以降、毎年春に開催される広東省政協会議に参加したこれまで華僑華人の列席代表を招き、国内の発展状況を見聞してもらうための視察旅行団を組織している。今回は広東省政協唐豪副主席引率の下 12 カ国 13 名の海外僑領が参加した。

日本からの参加は私だけであったが、他にはシンガポール・ドイツ・フィリピン・ニュージーランド、フィジー、ヴェネズエラ、マダガスカルなどから参集した僑領らが同行した。

今回視察したのは江浙両省の名だたる都市で、江蘇省の省都—南京、太湖で有名な無錫、社会主義新農村建設を实践する中国で一番裕福な村「華西村」、庭園が美しい蘇州、古くからの港町寧波、そして中国四大仏教の聖地「普陀山」を巡る 6 泊 7 日の旅だった。

南京中山陵

南京市では中山陵を拝した。1973 年に父母らに連れられ初めて当地を訪れてから実に 40 年ぶりの訪問である。73 年といえば中日の国交が正常化した翌年であるが、われわれが「探親」で祖国に降り立ったのは国交正常化直後の春で、まだ文化大革命の最中であった。当時まだ幼く、記憶もおぼろげであるが、



南京中山陵にて唐豪廣東省政協副主席(前列右 4)と視察団一行

南京で中山陵に行ったことは今でもよく覚えている。

山裾の牌坊をくぐり、山肌に沿って墓道、陵門、碑亭、祭堂と墓室に至る道のりは一直線に並ぶ。祭堂に安置される孫中山先生の坐像と墓室の漢白玉の孫中山先生の臥像は今でも鮮明に記憶しているが、現在では参詣者が多くなったため、墓室は立ち入りが禁じられてしまった。

中山陵は孫中山先生逝去後、26年～29年に花崗岩とコンクリート等で建築された。墓道の階段は392段あり、これは当時の中国の人口3億9200万人にちなむという。

中山陵周辺には孫先生を記念する孫中山紀念館・音楽台・中山書院などのほか、蒋介石と宋美齡が頻繁に宿泊したことから「美齡宮」と名付けられた歴史的建造物がある。

この「美齡宮」の建物はもとは1931年に当時の南京市政府により建設され、名称は「国民政府主席官邸」であったが、後に「美齡宮」と称されるようになり今日に至っている。現在は資料館として当時の様子を再現しており、入口には宋美齡が使用した車が展示され、2001年に全国重点文物保护单位（日本でいう「重要文化財」に相当）に指定されている。

また、中山陵の西隣には世界遺産・明孝陵がある。

明の太祖洪武帝朱元璋と后妃の陵墓で、1961年に全国重点文物保护单位に指定された。

南京「総統府」

総統府は南京市長江路に位置し、現在はいくつもの歴史的建物と庭園を擁する記念館として公開されている。

1912年1月1日に中国の歴史上初めての共和制国家である中華民国臨時政府が樹立され、孫中山先生がこの地で臨時大総統に就任した。

歴史を遡ると1853年3月19日には、太平天国がここ南京を都と定め、天京と名前を変え首都とすると、この両江総督署跡は規模が拡大され、洪秀全の「天朝府」となった。

その後1864年7月19日、清軍が再び南京を奪回すると、この天朝府は焼き払われ、また新両江総督署として再建され、現在の総統府の姿の原型が出来上がった。

1911年に辛亥革命が起こり、革命軍が12月2日に



南京総統府「国務會議廳」

南京に入城し、翌年の1月1日に孫中山先生が中華民国臨時大總統に就任、ここを「總統府」として自身の弁公室を構えた。

しかし、3ヶ月後の4月3日に袁世凱に大總統の地位を奪われると孫中山先生はここを離れてしまった。

1927年に北伐が成功するとこの地には「国民政府」の看板が掲げられるも、1937年、日本軍が南京に侵攻して南京が占領されると、ここに傀儡の維新政府が誕生し、1945年の日本の無条件降伏まで続くこととなる。

「陪都」重慶にあった「国民政府」は、1946年5月に再び南京に戻り、ここに再び「国民政府」の看板が掲げられた。そして1948年に蒋介石が中華民国總統に就任すると、再び「總統府」が復活したのである（上の写真は、蒋介石執務室）。

1949年4月23日に中国人民解放軍が南京に入城、翌24日未明に「總統府」は接收され、中国政治の中枢としての役割を終えた。

新中国成立後、一時期「總統府」内の一部建物は南京市政協の事務所として使われていたが、後に南京市政協が転出し、今では敷地内の施設がすべて整備、復元され、ここを訪れる台湾からの観光客も少なくないという。

天下第一村——華西村

南京をあとにした視察団一行は無錫市を経て江蘇省江陰市華士鎮に位置する村「華西村」へ向かった。上海の北西約130^キに位置するこの村は2009年に中国世界記録協会により国内で最も豊かな農村として認定され、「天下第一村（世界一豊かな農村）」と呼ばれている。

華西村は、江蘇省江陰市華士鎮に所在し、揚子江デルタのほぼ中部に位置する。1961年に村が建設された当時は、面積は0.96平方キロメートル、全人口は600人余り、1人あたりの年平均所得はわずか53元であった。

村の幹部、呉仁宝氏の強力なリーダーシップの下、華西村は、小規模な工業によって村を興し、徐々にその規模を拡大し50年あまりの間に巨大な変化をとげた。現在、華西村では、鉄鋼業、紡績業、旅行業が三大支柱の産業となり、

農村でありながら今では農業に従事するほとんどいなくなっている。

2001年からは、付近の村々とともに豊かになるため、周辺の20の貧しい村を前後して華西に合併し、大華西村を組織し、面積は、35平方キロメートルに拡大し、人口は3万人余りに達した。

華西村の村民には一戸建てと車が無償提供されてい



瀟洒な華西村村民の二階建ての庭付き戸建住宅

る。華西村の発展には、その独自の税制度が大きく関わっていると言われ、まず村政府は村民の収入の8割を徴収し、その後これを村営企業の株式に替えて配分するのである。

つまり、村民の収入を強制的に集め、新たなプロジェクトに投資して、さらに多くの利益を得るという仕組みだ。

利益の還元システムも整っており、1家庭に対して400平方メートル以上の一戸建て住宅と自動車を無償でプレゼント。そのほかにも、ガソリンの無料提供や医療費として毎年8000元の支給、大学までの学費の免除など、あらゆる面で大盤振る舞いをしている。

また、病院では無料診察が受けられるなど、福利厚生も充実する。



北京の故宮太和殿を模して建てられた華西博物館



華西村が誇る龍希国際大酒店

2011年10月には、当時中国で6番目の高さを誇る地上72階建ての準5ツ星ホテル「華西龍希国際大酒店」が開業。60階に位置する最高級のプレジデンシャルスイートは一泊99,999人民元とのこと。

また純金1トンをを使って作られた牛のオブジェが客を出迎える。この金牛とスイートルームを見学するコースがあり、当地の観光資源の一つとなっている。ホテルの地上約300メートルにある展望台へは、最高速度分速600メートルという超高速エレベーターで上昇し、あっという間に到着する。展望台からは住宅地区など村を一望でき、遠くには、村が作り上げた万里の長城や天安門、パリの凱旋門やシドニーのオペラハウスなど

を複製した建造物の景観も見える。また赤い屋根の同じ形状の一戸建て住宅が、等間隔に整然と並んでいる。

今では華西村の成功を受け、同村が支援する“省外華西村”が寧夏や黒龍江に建設されている。

舟山群島の仏教聖地「普陀山」

「天下第一村——華西村」の見学を終えた我々は蘇州入りし、翌日蘇州から浙江省寧波まで高層鉄道で移動した。9月7日午前9:08分定刻に蘇州駅を発車したG7581号は南京が始発の高速列車で、蘇州を離れ一路終点である寧波東

駅を目指した。

蘇州から寧波東までの走行時間は約 3 時間。列車は午前 11 : 54 に寧波駅に到着した。

そして我々一行が向かうの寧波の先の東海に浮かぶ中国仏教の聖地——普陀山（ふださん）である。

普陀山は浙江省の沿海舟山群島にある島で、山西省の五台山、安徽省の九華山、四川省の峨媚山と並び中国四大仏教名山（仏教の聖地）に数えられ、観音菩薩が祀られていることで知られてる。普陀山には年間約 360 万人を超える内外の観光客が訪れるという。

普陀山が観音信仰の地となったのには日本とも大いに関わりがある。

というのも当地が観音霊場の始まりとなった 10 世紀初頭の 916 年、中国への渡来僧であるった慧萼（えがく）が、中国留学を終えて日本に帰国しようとした際、日本に招来しようとした観音菩薩が当地で日本に渡ること拒んだという故事が伝えられている。



1997 年に建立された「南海観音禪林」の金色に輝く銅製の観音像は 33m の高さを誇る

大中 12 年 (858)、慧萼は五台山で観音像を入手し、明州 (今の寧波) から船で帰国しようとして普陀山にさしかかると、とつぜん海面に鉄の蓮華が湧きだし、船が通れなくなってしまった。

皆が恐れてひざまずき「尊像の海を東する機縁はまだ熟していないということでしたら、どうぞこの山にとどまりください」と祈ると、船はすぐに動けるようになったという。慧萼は、さっそく観音像を普陀

山の岸に上げ、お堂を造って祀った。ここが「不肯去観音院（行かず観音院の意）」と言われ、以後普陀山は観音道場となり、多くの仏寺が建立されるようになった。

現在、普陀山にある沢山の寺院全体の中でも主要な寺院である普濟寺は、普陀山の靈鷲峰の麓に位置し、白華山の南にあり前寺とも呼ばれているが、この普濟寺の前身が「不肯去観音院」で、日本からの留学僧であった慧萼によって唐咸通年間に建てられた。

今日普陀山は行政的には浙江省舟山市普陀区に属し、中国四大仏教名山のうち唯一の海上聖地であり、「海天佛国」とも呼ばれ、多くの善男善女が訪れている。また、島内には多くの素齋を提供する店があり、中国式の精進料理が楽しめる。現在、普陀山には多くの観光ホテルが建設され、快適な巡礼の旅ができる環境が整っている。

寧波「天一閣」

普陀山を後にし、9 月 8 日今回の視察旅行の最終目的地である寧波に戻った

一行は、現存する中国最古の書庫である「天一閣（てんいつかく）」を訪れた。ここは明代の范欽が建設した私立の書庫で、浙江省寧波市海曙区に位置し、市民の憩いの場である月湖の西側に位置する。現在は博物館として、范氏の邸宅や庭園など周囲の古建築と共に一般公開され、1982年に「全国重点文物保护单位」にも指定され、内外から多くの観光客が訪れている。

范欽は、明嘉靖11年（1532年）の進士で、官は兵部右侍郎にまで進んだ。江南の蔵書家が多い地方でも、その在世当時より、第一の蔵書家と称され、二階建ての書庫を「天一閣」を建てた。彼がその書庫を「天一閣」と名づけたのには理由があった。書籍にとって火は厳禁であり、それに相克する水にちなむ縁起をかついだ命名であると言われている。階上には、二十八宿を模った28架の厨子に蔵書を入れあるという。見学者は外からガラス越しに建物一階の内部を伺うことは可能だが、二階はおろか一階への立ち入りも禁止されている。

その蔵書は長らく散逸することもなく伝存し、清朝で『四庫全書』が編纂された際には、602種を貸し出し473種の典籍が記録された。その功績は、その対価として『古今圖書集成』10,000巻が下賜される程であった。ただし、編纂のために貸し出された書籍の多くは返却されなかったと言われる。



寧波「天一閣」にて

天一閣の建築様式として特徴的なのは、書庫の前に防火用に開鑿された池である。天一池と言い、東側の月湖を水源とし、水量は豊富である。四庫全書を納めた文淵閣や文瀾閣も前方に消火用の池を備えている。乾隆39年（1774年）に乾隆帝が作った『文淵閣記』の中で「閣之制一如范氏天一閣」と書かれている。更に増えた蔵書を収める為に清代、南後背にある假山に蔵書閣を作り、そこにも書籍を収納していた。

* * * * *

今回は一週間に及ぶ江南の旅であったが、「走馬看花」であったのは否めない。悠久の歴史を背景に、中華民族の偉大なる復興の夢を追う今日の中国を見て回る旅は興味が尽きないものである。

今回の旅を通じて、世界各国で活躍する僑領と交流する機会を得たことは大きな収穫であった。この場を借りて廣東省政治協商会議に感謝したい。

■第25屆理事會 第6回理監幹事會記錄

日期：2013年9月7日（星期六）PM5:30

地點：廣東同鄉會會議室

出席者：陸煥鑫、符順和、羅博英、張康權、李旭光、黃興齊、孔潔貞
尹星、黎啓榕、潘創治、伍國群、李國松、徐永贊、夏東開
王華南

主席：陸煥鑫

報告及決議事項(中文)

- 1、8月24日下午6時，留日福建同鄉會在東京目黒區八芳園舉行納涼晚會，陸煥鑫會長代表本會應邀出席。
- 2、橫濱廣東語教室，暫時停課。
- 3、8月29、30日，亞青交響樂團演奏會在新宿歌劇城舉行，本會陸煥鑫會長等13人應香港特區駐東京經貿代表處之邀欣賞了精彩的演出。
- 4、逝世會員：崔耀義先生、嚴德才先生、馮國賢先生、張炎華先生，謹致哀悼。
- 5、新入會員：羅鳴(男)。

報告及び決議事項(日文)

- 1、8月24日午後6時、留日福建同郷会は目黒区にある八芳園にて納涼会を開催し、陸煥鑫会長は招待を受け本会を代表して出席した。
- 2、横浜の広東語教室は暫定的に休止とした。
- 3、8月29、28日、アジアユースオーケストラの公演が新宿オペラシティで開催され、本会の陸煥鑫会長ら13名は香港特区駐東京経済貿易代表部の招待を受け公演を鑑賞した。
- 4、逝去会員：崔耀義さん、嚴德才さん、馮国賢さん、張炎華さん、謹しんで哀悼の意を表します。
- 5、新入会員：羅鳴さん(男)

■第25屆理事會 第7回理監幹事會記錄

日期：2013年10月5日（星期六）PM5:30

地點：廣東同鄉會會議室

出席者：陸煥鑫、朱銘江、符順和、羅博英、張康權、李旭光、黃興齊
孔潔貞、黎啓榕、伍國群、梁啓成、李國松、徐永贊、夏東開
何子嵐、王華南

主 席：陸煥鑫

報告及決議事項(中文)

- 1、9月16日正午12時，本會敬老慶祝會在橫濱中華街聘珍樓舉行，是日蒙郭敏會員演奏揚琴特別助興。與會人數302人。宴會費用支出：24,43,945日元；敬老紅包支出：87,000日元。會員家屬參加費收入：171,000日元。
- 2、敬老會當天適遇颱風吹襲，部份原本預定出席的人士被迫未及出席，有鑑於此天氣原因，缺席者免徵其參加費用。
- 3、在將來，敬老會及新年會舉辦日宴會開始之前，每位理事需確認被分派的工作任務。
- 4、年會費5,000日元的繳納方法將改為郵政匯款方式。
- 5、退會會員：陳美峰、程偉文。
新入會員：中尾高之、孔浩蓮、孔浩瑜、馮倩文、楊挺、潘景榮。

報告及び決議事項(日文)

- 1、9月16日正午12時、本会主催の敬老祝賀会は横浜中華街聘珍樓で開催された。当日は会員の郭敏さんが余興で揚琴を演奏した。参加人数は302名。宴会費用支出：2,443,945円。敬老祝金支出：87,000円。家族参加費収入：171,000円。
- 2、敬老会当日は台風の襲来により、一部の参加予定者が出席できなかったが、天候不順によるためその欠席費用の徴収は免除する。
- 3、以降の敬老会、新年会開催日当日は開始前にミーティングを行い役割分担を明確にする。
- 4、年会費5,000円の納付方法を郵便払込とする。
- 5、退会会員：陳美峰、程偉文。
新入会員：中尾高之、孔浩蓮、孔浩瑜、馮倩文、楊挺、潘景榮。

■第25届理事会 第8回理監幹事会記録

日 期：2013年11月2日（星期六）PM5:30

地 点：廣東同鄉會會議室

出席者：陸煥鑫、朱銘江、符順和、羅博英、張康權、李旭光、李国松
徐永贊、梁啓成、潘創治、黃興齊、尹 星、伍国群、黎啓榕
何子嵐、王華南

主 席：陸煥鑫

報告及決議事項(中文)

- 1、本會會館一樓進行裝修，準備出租。
- 2、10月6日，會館飲茶會參加者10名。
- 3、12月1日，預定舉行假日步行會。
- 4、10月17日，高爾夫同好會在東京灣鄉村俱樂部舉行，參加者10名。
- 5、2014年新春聯歡暨成人祝賀會，定於1月19日在橫濱中華街聘珍樓。
- 6、往後當新入會員入會之際，須由會員一名介紹及理事一名推薦，並經過理事會承認方能成為會員。今後凡是會籍在兩年以上者方能介紹新人入會。
- 7、新入會員：梁順郁、李王蘭

報告及び決議事項(日文)

- 1、本会会館の一階は貸出しに向け内装工事進行中。
- 2、10月6日、会館での飲茶会の参加者は10名。
- 3、12月1日、休日ウォーキングの会を開催予定。
- 4、10月17日、ゴルフ同好会は東京湾カントリー倶楽部で開催、参加者は10名。
- 5、2014年新春聯歡及成人祝賀会は、1月19日に横浜中華街聘珍樓にて開催予定。
- 6、今後、本会の入会には会員一名の紹介と理事一名の推薦を必要とする。紹介する会員は二年以上の本会在籍が必要である。
- 7、新入会員：梁順郁、李王蘭

■ 編後記 ■

《会刊》主編

朱銘江

親愛的會員們，新年好！

在這2014年甲午春節即將到來之際，謹向諸位鄉親拜個早年。

恭喜發財、萬事勝意、身壯力健、從心所欲、生意興隆、龍馬精神、事業發展、得心應手。總之，好意頭的說話不怕多講，尤其是在過年的這個時候。

新年伊始，萬象更新，我們同鄉會的事務局人事也有了變動，十年來擔任我們鄉會事務局長的王華南先生已於去年年底光榮退休，接任其職務的是本會現任理事孔潔貞女士。今後我會的事務工作就由孔女士來擔任，在此希望廣大會員們能一如既往地給予事務局支持。

從今年4月起，為了增強和改善本會的財政狀況，在新一年的會計年度開始之際，本會將年會費調整至5,000日元(一年)。以往主要在召開新春聯歡會之際會員們繳納的年會費將改為以郵局的郵政匯款方式來徵收，如此將可緩解新春聯歡會當天報到處那的混亂局面。今年是改革收費方式的第一年，開頭或許會有一些不習慣，但願得到會員諸位的理解和合作。

我們這份會刊依然是聯繫鄉親的橋樑，亦希望大家繼續給予支持。

小 啟

本會原事務局長王華南先生已於去年年底光榮退休，後任事務局長由本會理事孔潔貞女士接任。敬請諸位會員知照。



新事務局長孔潔貞女士

お知らせ

本会前事務局長の王華南氏は、昨年の年末をもって退職され、後任の事務局長には本会理事の孔潔貞女士が就任しました。

会員の皆様には今後ともよろしくお願い致します。

一般社団法人

廣東同鄉会

友好往來活動照片選登

編輯部



2013年9月16日，欣逢日本「敬老之日」，本會援例舉辦慶祝大會為長者會員們祝壽，上圖為夏東開理事致祝酒詞。



國樂藝術家郭敏會員演奏揚琴助興



揚琴優美動聽的旋律，的確聽出耳油



會長與副會長向長者會員贈送紅包致賀並向與會者敬酒

冬日都心遊步會



2013年12月1日本會舉辦假日都心遊步會，與會者於起步點JR新橋站火車頭廣場留影



與會者沿著日比谷大通一路北上



遊步後回到會館茶敘，品嚐熱騰騰的一碗粥，滋味無窮。

友好往來活動照片選登 編輯部



澳門特區前特首何厚鏞全國政協副主席 (前左 3)、澳門特首崔世安行政長官 (前右 2)、國務院僑辦馬儒沛副主任(前右 1)等蒞臨世粵聯會暨首屆世粵僑青大會



徐永贊理事(右 1)，孔潔貞理事(左 2)向獲獎的朱銘江副會長(右 2)及加拿大溫哥華僑領霍啟恩先生(右 1)致賀



大會期間，朱銘江副會長(左)與兩位老朋友，新西蘭僑領阮黎少芬女士及澳大利亞僑領吳其芬先生合影留念

日本的三家粵系鄉會會長合影留念。右起本會陸煥鑫會長、廣東要明鶴同鄉會陸佐光會長以及兵庫縣廣東同鄉會譚振賢會長。

